

7. 教育センター

教育センターは、本学医学・看護学の卒前ならびに卒後教育の支援組織として、教育を推進する。これらの活動を通して、東京慈恵会医科大学の発展に寄与し、国民のための医療者教育の向上に貢献することを目的とする。卒前教育、卒後教育、生涯学習の連続性の中で、大学、附属病院を横断する教育活動について、教育センターは支援する。教育センター長、部門組織は次の通り。

教育センター長 福島 統 教授

- (1) 医師キャリアサポート部門
 - ① 医学教育研究室
 - ② 教育開発室
- (2) 看護キャリアサポート部門
- (3) シミュレーション教育部門
- (4) 地域医療支援部門
- (5) 教育IR部門
- (6) アドミッション部門

1) 公開講座

(1) 大学主催公開講座

教育センターが公開講座推進委員会（委員長：福島統教授）を主管し、大学主催（大学および4附属病院が企画・実施）の公開講座を取り纏めた。平成28年度は全機関で25回開催した。本公開講座は一般市民および地域医療者を対象とし、大学の社会貢献と広報活動の充実に関する事業としている。公開講座の継続的な推進を図るため、各機関による主体的な運営形態としている。

平成28年度の開催内容は下記のとおり。

- ・附属病院：計10回（新みんなの健康教室（6回）、市民公開講座（4回））
- ・慈恵医大葛飾医療センター公開セミナー 3回
- ・慈恵医大第三病院公開健康セミナー 2回
- ・柏病院市民公開講座 3回
- ・大学：計7回（地域医療者向け公開講座2回（教育センター主管）、ひらめき☆ときめきサイエンス2回（教育センター主管）、市民公開講座3回）

2) 教育に関する公的補助金にかかる事業

A. 平成24年度文部科学省「参加型臨床実習のための系統的教育の構築」事業

内科学講座（糖尿病・代謝・内分泌内科）宇都宮一典教授が事業推進責任者となり、取組「参加型臨床実習のための系統的教育の構築」を推進した。平成28年度の活動は次の通り。

- (1) 診療参加型臨床実習実施
- (2) ログブック改良
- (3) PostCC-OSCEの検討
- (4) 第61回医学教育セミナー

本学が平成27年度より、新カリキュラムが施行し、平成28年9月にはクリニカルクラークシップを大幅に拡充する。この実習は、本学附属4病院とともに学外9施設の教育病院にご協力いただいて実施する。本セミナーでは、教育病院の院長、実習指導者、事務関係者をお招きし、附属4病院の指導者とともに本学が目指すクリニカルクラークシップについて、ご紹介するとともに、意見交換の機会とし、平成28年7月6日（水）に実施した。参加者は152名（教育病院24名、学内128名）。

(5) 成果報告会（第62回医学教育セミナー）

文部科学省「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革におけるグローバルな医師養成事業」成果報告として、全国医学部、教育病院、学内の教職員に案内し、平成29年3月3日に第

63回医学教育セミナーを開催した。教育センター長 福島 統教授による基調講演、医学科長・教学委員長 宇都宮一典教授による成果発表、川村哲也教授・岡崎史子講師の司会によるパネルディスカッション「本学における診療参加型臨床実習」などを実施した。参加者：109名（他大学27名、教育病院12名、学内70名うち学生4名）。

B. 平成25年度文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成」事業

内科学講座（総合診療内科）大野岩男教授が事業推進責任者となり、取組「卒前から生涯学習に亘る総合診療能力開発ー地域における臨床研究の推進を目指してー」を申請し、採択を受けた。

事業期間は平成25年度～29年度。本補助事業平成28年度の主な活動は次の通り。

(1) 教育プログラムの開発

次の8つの教育プログラムの開発を行った。

- ① 高齢者医療体験実習（医学科3年次）
- ② へき地医療プログラム（初期臨床研修 2年目研修医）
- ③ 総合診療コース（レジデント）
- ④ 大学院医学研究科博士課程授業細目「地域医療プライマリケア医学」
- ⑤ 授業細目「地域医療プライマリケア医学」・レジデントのコンバインドコース
- ⑥ EBMと臨床研究セミナー（大学院インテンシブコース）
- ⑦ 総合診療・家庭医療ブラッシュアッププログラム（医師インテンシブコース）
- ⑧ 復職支援スタートアッププログラム（医師インテンシブコース）

(2) 第60回医学教育セミナー

キングス大学の医学教育学部長であるStuart Carney教授をお迎えし、テーマを変革する医学教育：患者と人口の変化に対応したKCLの取り組みとして開催した。講演タイトルは「Transforming Medical Education」。平成28年5月16日（月）に大学1号館6階講堂にて実施し、参加者は51名であった。

(3) 外部評価

角田 徹 先生（角田外科消化器科医院・院長）、中原 正雄 先生（中原医院・院長）による外部評価を、平成29年2月2日（木）に受審した。

C. 平成24年度文部科学省「医学・歯学教育認証制度等の実施」事業

東京医科歯科大学を代表校とし千葉大学、東京大学、新潟大学、東京慈恵会医科大学、東京女子医科大学の6大学が連携して、取組「国際基準に対応した医学教育認証制度の確立」を申請し、採択を受けた。本学の事業責任者は福島統教授が担当した。事業期間は平成24年度～28年度。

D. 経常費補助金「情報の公表」

教育補助金検討委員会（委員長：福島統教授）が主導し、教育情報の公表について、関係部署からデータ提供の協力を得て、平成28年9月に本学ホームページに掲載し、教育情報の公表を行った。これに伴い経常費補助金「情報の公表」の申請を行った。事業期間は平成28年度の単年度。

3) 看護学教育プログラム

看護学教育部門（看護キャリアサポートセンター）の奈良京子部門長を担当として、以下の教育プログラムを実施した。

(1) エデュケーションナース研修

- ・開催趣旨：新人看護師やプリセプターに対して意図的に適切な指導を行うために必要な知識・技術・態度を修得し、教育担当者としての役割を担う看護師の育成をねらいとした。
- ・開催期間：28年8月2日（火）～11月19日（土）の内20日間、受講者数：47名

(2) 看護監督者研修

- ・開催趣旨：中間管理者に求められる基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度

を修得し、大学病院・看護部の理念の基、担当部署の看護管理過程が展開できる人材を育成することをねらいとした。

- ・開催期間：平成28年11月24日（木）～平成29年2月25日（土）の内11日間、受講者数：26名

(3) 看護管理者研修

- ・開催趣旨：臨床および教育の看護管理者が一堂に集まり、各々の立場から本学の看護の現状と課題について情報交換を行い、【目指す慈恵の看護】を共有し、連携強化を目指した。

- ・開催期間：平成29年1月28日（土）～1月29日（日）1泊2日、受講者数：12名

4) シミュレーション教育支援

シミュレーション教育施設委員会（委員長：福島統教授）が中心となり、シミュレータ機器の選定、購入などの機器整備を行い各機関のシミュレーション教育施設の充実を図るとともに、シミュレーション教育施設の管理運営を行った。

各機関の利用状況は、西新橋校475件、国領校63件、葛飾医療センター144件、柏病院154件、合計836件の利用であった。

5) ICT活用教育支援

(1) eラーニング

卒前・卒後教育教材の作成とeラーニングのサーバ等のシステムを管理し、利用支援を行うとともに、教材作成を支援した。eラーニングの実績は年間34コース382回であった。内訳は次の通り。

- ・医学科学生 13コース、98回（3年次症候学演習、4年次基本的臨床技能実習など）
- ・看護学科学生 12コース、62回（2年次情報科学、3・4年次在宅看護学実習など）
- ・大学院博士課程 1コース、9回（疫学臨床研究、生物統計学など）
- ・卒後教育（研修医、看護師、地域医療者など） 8コース、213回（鏡視下手術トレーニングなど）

(2) コンピュータ試験の支援

医学教育研究室木村直史教授を責任者として、医学科5年生「総括試験」、医学科2年生「総合試験」、など医学科で14回、看護学科科目横断試験で1回、計15回のコンピュータ試験実施の支援を行った。

(3) クリッカーを活用した授業等の支援

クリッカーの運用・管理、利用者への支援を行った。学生、大学院の授業や医師、看護師の勉強会等で計40回利用され、利用者数は計7452名であった。

6) 教育IR部門

医学科コース「医学総論」のユニット、オリエンテーションにおける学生のリアクションペーパーの情報収集整理を行った。

また、平成29年度に実施予定の医学教育分野別評価の改善報告書作成の準備を行った。

7) 地域医療者教育プログラム

(1) プライマリ・ケアのための臨床研究者育成プログラム

地域医療を行っている医師を対象に「プライマリ・ケアのための臨床研究者育成プログラム」を松島 雅人教授（臨床疫学研究部・教育センター）を責任者として実施した。

平成26年度生・受講生13名、平成27年度生・受講9名、平成28年度生・受講10名を受講生として、講義（eラーニング）を6コース、ワークショップを4回実施した。

(2) 慈恵医大地域医療教育者のための研修・交流会

本学は平成27年度～平成29年度にわたり医学科カリキュラムを大きく改編しているところである。そこで、本研修会は、地域社会で活躍する地域医療者に、本学カリキュラム編成全般について、意見を伺い、さらにグループ討論いただき、客観的な視点を取り入れる機会とした。また、本学カリキュラムでは多様な学外実習が行われているが、学外実習指導者より、医師、看護師、コメディカルスタッフ、教員、介護スタッフなどの方々同士の

交流の要望を頂き、本研修会を学外実習指導者の交流とともに教育能力の向上を目的に、平成28年6月26日（日）に実施した。教育担当者は福島 統教育センター長、中村真理子教授、岡崎史子講師、参加者は地域医療教育者32名。

8) 市民ボランティア「あけぼの会」の活動

平成24年度より、学生、医師、看護師等への本学らしい医療者教育の拡充を目的に、一般市民ボランティア「あけぼの会」を組織し活動を開始した。この組織は、現在、医学科・看護学科の授業（演習、実習）で実践している市民参加型コミュニケーション教育や、医療面接教育への支援を主としている。平成29年3月31日現在の会員数は31名で、平成28年度の活動は次の通りである。

(1) 例会（SP勉強会含む）

第1回例会	平成28年4月23日（土）	9：30～12：00（SP、例会）
第2回例会	平成28年5月14日（土）	9：30～12：00（SP、例会）
第3回例会	平成28年6月25日（土）	9：30～12：00（SP、例会）
第4回例会	平成28年9月10日（土）	9：30～12：00（SP、例会）
第5回例会	平成28年11月5日（土）	9：30～12：00（SP、例会）
第6回例会	平成29年1月14日（土）	10：00～12：00（SP）
第7回例会	平成29年2月25日（土）	9：30～12：00（SP、例会）
第8回例会	平成29年3月25日（土）	9：30～12：00（SP、例会）

(2) 授業への参加

医学総論Ⅳ演習（西新橋校）	医学科4年	4月8日（金）	14：00～16：10
医学総論Ⅳ演習（西新橋校）	医学科4年	5月13日（金）	13：40～16：10
医学総論Ⅲ演習（西新橋校）	医学科3年	7月4日（月）	13：00～16：10
医学総論Ⅴ演習（西新橋校）	医学科3年	11月17日（木）	13：00～14：30
医療総論Ⅰ演習（国領校キャンパス）			

医学科・看護学科1年5月24日（火）13：00～14：30

医療総論Ⅰ演習（国領校キャンパス）

医学科・看護学科1年6月7日（火）13：00～14：30

9) テレビ会議システムの利用支援

4機関合同の教育・研修活動の支援として、テレビ会議運営委員会を主管し、4機関を接続したテレビ会議システムの使用を支援し、年間13回のテレビ会議システムの利用支援を行った。利用内容は学長就任式、4病院合同セーフティーマネジメント、成医会などであった。

10) アウトリーチ活動

アウトリーチ活動推進委員会（委員長：南沢享教授）が主体となり、大学の社会貢献の一環として、教育研究成果の中高校への還元を目的に次の活動を行った。

(1) ひらめきときめきサイエンス

- ・「働き者の心臓を見て、触って、聴いて、知りつくそう」南沢享教授（細胞生理学講座）
平成28年7月29日（金）大学17階カンファレンスCD、中学生16名
- ・「がん細胞の大暴走！ ～細胞増殖のアクセルとブレーキ～」
吉田 清嗣教授（生化学講座）
平成28年7月22日（金）大学1号館7階実習室、高校生10名

(2) オープンキャンパスにおけるアウトリーチ活動（3回）

教育・研究および学生のポスター展示、学生クラブ紹介ビデオの上映を行い、次の講義を行った。

- ・8月12日（金）16：10～16：40 岡野ジェイムス洋尚 教授（再生医学研究部）
「iPS細胞が切り開く未来の医療」
参加者 約68名
- ・8月12日（金）16：10～16：40 村山雄一 教授（脳神経外科学講座）

「近未来の脳神経疾患治療」

参加者 約92名

- ・ 8月13日（土）16：10～16：40 川村将仁 講師（薬理学講座）
「虚血に対する低体温療法における、アデノシン受容体の関与
－医学部3年研究室配属実習における学生の研究成果の紹介－」

参加者 約48名

- ・ 8月13日（土）16：10～16：40 坂東 興 教授（心臓外科学講座）
「心臓外科医の喜び」

参加者 約104名

- ・ 9月24日（土）16：10～16：40 宮田市郎 准教授（小児科学講座）
「子どもの成長を科学する」

参加者 約65名)

11) 教育質的転換プロジェクト

平成27年度開始の医学科・看護学科及び大学院における教育の質的転換に向けたプロジェクトを平成28年度も学内公募し、プロジェクトを支援することとした。学長裁量経費から支給する。選定されたプロジェクトは次の通り。

プロジェクト：医療の国際化に対応する実践的医学英語教育

所 属：国際交流センター

企画責任者名：福田 国彦 教授

メンバー：芦田ルリ教授、南沢 享教授、菊池麻由美准教授、嘉山智大助教